

おかげ横丁のご案内

節分の市



立春正月、すなわち「陽来復して春になる」という考え方から、節分は一年最後の日と考えられ、邪気を祓い、幸せを願う行事が行われてきました。福を呼び込むおかげ横丁の節分は、町中が福でいっぱいになります。

◎二月三日(金)まで 十時～十七時

◆縁起の市

豆まきにつきもののお面「豆面」や「福豆」、「トクサ鯛」など、疫を払うと言われる縁起物を揃えた賑やかな市です。

◆節分限定料理

特製恵方巻を中心に、旬の味覚を盛り込んだ節分ならではの特別料理をご用意しています。

- すし久 「太巻膳」・・・一、六五〇円
- 海老丸 「節分膳」・・・一、八〇〇円
- とうふや 「節分膳」・・・一、五〇〇円
- 野あそび棚 「節分三重膳」・・・一、六五〇円
- 団五郎茶屋 「節分セット」・・・七八〇円

◆第六回「春色のしあわせ」絵手紙公募展

(場所／大黒ホール)

「福」を呼び込み、「しあわせ」でいっぱいになるような絵手紙を展示。

三月 朔日餅のお知らせ

よもぎ餅

三月は、女兒のすこやかな成長を祈る上巳の節句(桃の節句)にちなんだ「よもぎ餅」です。香り高いよもぎの生地です。餡を包みます。

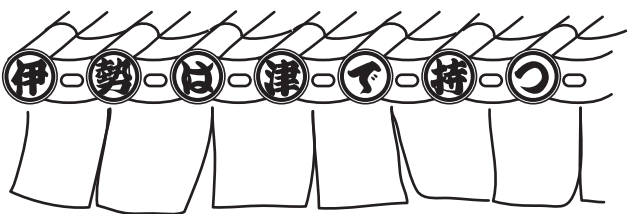


■ お土産	小箱	6個入	600円
	大箱	10個入	1,000円
■ お召し上がり		2個入	200円

赤福本店

訪れだより

かわらのはなし



寒さが続く毎日ですね。おかげ横丁の店の瓦に文字が刻まれていること、ご存知ですか？  
軒先の瓦の一部には伊勢音頭の歌詞が二文字ずつ刻まれています。伊勢音頭は「荷物にならない伊勢土産」として全国に広まったもの。瓦を伝つと節唄えます。  
寒空に楽しさひとつ発見！

おしやべり広場

二月のオアシス情報！

朔日かわら版の編集スタッフより、季節感ある身近な情報をお届けします。

立春(二月四日)の早朝、禅寺では厄除けのために「立春大吉」と書いた紙を門に貼る習慣があるそうです。この文字は縦書きすると左右対称になり、一年間災難にあわないうちにおまじないです。

この時期に美味しいのが、伊勢特産のお漬物「朝熊の小菜(こな)」。細かく刻み、しょう油を少しかけるとごはんとの相性がバツグンです！おかげ横丁・傳兵衛で買えます。

バレンタインデーの贈り物は、お決まりですか？おかげ横丁・徳力富吉郎版画館の黒まめチョコレートは、味はさることながら小箱がおしゃれ。絵柄が沢山あるので、送り先に合わせて選べるのが良いんです。

なんと江戸時代の物売りに「鯛売り」もあつたとか！「御伽草子」にも、伊勢の鯛売りが登場するほど、昔からこちらの鯛は有名なんです。

